

事業報告書

令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係
(引 受)

年産	共済目的及び加入方式	組合員数	引受面積	引受収量	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金または納入保険料(B)	手持共済掛金(A)±(B)
		人	a	kg	円	円	円	円	円
令和3年	水 稲	13,760	1,287,594	45,691,982		7,599,613,359	12,910,745	交 437 納 10,707,515	2,203,667
	陸 稲	2	208	3,412		590,276	31,022	納 19,907	11,115
	一筆方式	4	1,941	41,056		3,831,224	112,405		
	災害収入方式	176	110,288		436,152,614	392,453,633	24,127,714	交 8,656,130	32,896,249
	小 計	180	112,229	41,056	436,152,614	396,284,857	24,240,119		
合計	延 13,942 実 13,807	1,400,031	45,736,450	436,152,614	7,996,488,492	37,181,886	交 8,656,567 納 10,727,422	35,111,031	
令和4年	麦 災害収入方式	159	96,337		383,246,862	343,327,131	9,426,842	納 1,481,838	7,945,004

(注) 麦については、当該年産に係るものと翌年産に係るものを記載する。

(被 害)

共済目的	被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共済金共済金額
	人	a	kg	円	%
水 稲	61	2,421.6	23,191	4,253,980	0.1
陸 稲					
麦	一筆方式	2	303	39,543	1.0
	災害収入方式	60	394,546	33,140,470	8.4
	小 計	62	394,849	33,180,013	8.4
合 計	延 123	46,295.0	418,040	37,433,993	0.5

【被害状況】

〔 水 稲 〕

梅雨時期の天候不順等により、一部圃場でいもち病が発生した。また、8月中旬以降のたび重なる風雨により、倒伏した圃場が見受けられた。桜川市(真壁・大和地域)の中山間部における獣害は、前年の4分の1程度にとどまった。

〔 麦 類 〕

出芽期から分けつ期にかけて、水はけの悪い水田で湿潤害、低地圃場で凍霜害が発生した。また、出穂期以降の風雨により倒伏し、品質の低下及び減収となった圃場が見受けられた。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金共済金
			保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
水 稲	12月14日	4,253,980	1,063,495	2,203,667	986,818			100
陸 稲								
麦	一筆方式	39,543	9,885	24,880,979				
	災害収入方式	33,140,470	8,289,149					100
	小 計	33,180,013	8,299,034	24,880,979				
合 計		37,433,993	9,362,529	27,084,646	986,818			100

(2) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
	畑作物区分								
令和3年	大豆	半相殺・一筆方式	人 8	a 7,074	kg 51,737	円 7,812,287	円 446,072	円 247,816	円 198,256
		全相殺方式	35	20,833	230,738	38,499,484	2,278,138	1,265,627	1,012,511
		小計	43	27,907	282,475	46,311,771	2,724,210	1,513,443	1,210,767
	スイートコーン	全相殺方式	83	13,957	1,118,321	221,763,022	6,086,531	3,381,388	2,705,143
	かぼちゃ	全相殺方式	76	2,972	422,226	86,484,514	2,696,021	1,497,775	1,198,246
	合計	延 202 実 194	44,836	1,823,022	354,559,307	11,506,762	6,392,606	5,114,156	

(被 害)

項目		被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額
畑作物区分						
大豆	半相殺・一筆方式	人 7	a 1,490	kg 3,609	円 544,959	% 7.0
	全相殺方式	11	7,680	25,894	4,768,352	12.4
	小計	18	9,170	29,503	5,313,311	11.5
スイートコーン	全相殺方式	28	4,966	80,874	16,037,301	7.2
かぼちゃ	全相殺方式	33	1,325	39,912	8,175,157	9.5
合計	延 79 実 77	15,461	150,289	29,525,769	8.3	

【被害状況】

〔大豆〕

8月中旬以降の長雨と相次いで接近した台風14号、16号の影響により風水害が発生した。これにより、滞水及び浸水した圃場では肥大不足並びに変形粒・カビ粒・未熟粒・汚損粒が発生し減収につながった。

〔スイートコーン〕

6月15日に古河市の一部地域において降雹があり、更に7月11日には暴風雨が 발생し、茎葉が倒伏したことで開花期であった圃場では受粉不良により稔実不良となった。また、7月上旬から中旬にかけての長雨により、日照不足となり葉鞘の成長が阻害され、子実の肥大不良や先端不稔となった圃場が多く見受けられ減収につながった。

〔かぼちゃ〕

6月15日に古河市の一部地域において、直径約3センチ程の降雹があり、茎葉及び果実に大きな損傷を受けた。また、7月上旬から中旬にかけての長雨による日照不足によって草勢が弱く、着果した果実の肥大不足や2番果実の着果不良となるものがあり減収につながった。

(支 払)

項目 畑作物区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
大 豆	半相殺・一筆方式	2月8日	円 544,959	円 435,967	円 108,992	円	円	円	% 100
	全相殺方式	3月29日	4,768,352	3,814,681	953,671				100
	小 計		5,313,311	4,250,648	1,062,663				100
ス イ ー ト コ ー ン	全相殺方式	12月7日	16,037,301	12,829,840	2,705,143			502,318	100
か ぼ ち ゃ	全相殺方式	12月7日	8,175,157	6,540,125	1,198,246			436,786	100
合 計			29,525,769	23,620,613	4,966,052			939,104	100

(3) 果樹共済関係 (なし)

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
		人	a	kg	円	円	円	円
令和2年	半相殺減収総合方式	12	141	36,060	6,733,000	331,475	305,689	25,786
	半相殺特定危険方式	140	6,588	1,619,083	348,443,000	10,832,901	9,956,799	876,102
	樹園地特定危険方式	60	4,015	1,007,240	189,208,000	2,867,868	2,560,937	306,931
	合計	212	10,744	2,662,383	544,384,000	14,032,244	12,823,425	1,208,819
令和3年	半相殺減収総合方式	177	8,217	2,041,059	397,698,000	11,110,118	9,842,302	1,267,816

(注) 当該年度の引受けに係るもののほか、過年度引受けに係るものでも、その責任期間が当該年度に及ぶものについて年度別に記載する。

(被 害)

果樹区分	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額
	人	kg	円	%
半相殺減収総合方式				
半相殺特定危険方式	8	13,774	841,920	0.2
樹園地特定危険方式	1	3,249	218,490	0.1
合計	9	17,023	1,060,410	0.2

【被害状況】

[半相殺減収総合方式・半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式]

4月11日に管内全域において、降霜により幸水に着果不良等の被害が発生した。また、6月15日には下妻市において、降雹により幸水、豊水の果実に裂傷、すれ傷等の被害が発生したが、いずれも軽微な被害であった。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
半相殺減収総合方式								
半相殺特定危険方式	12月21日	841,920	673,536	168,384				100
樹園地特定危険方式	12月21日	218,490	174,792	43,698				100
合計		1,060,410	848,328	212,082				100

(4)家畜共済関係

(引受)

項目		有資格 頭数	事業計画 頭数 (a)	引受 頭数 (b)	計画 達成率 (b)/(a)	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	納入 保険料 (B)	交付 金	手持 共済掛金 (A)-(B)
区分		頭	頭	頭	%	円	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾乳牛	2,174	1,950	2,157	110.6	471,316,000	12,504,459	7,502,663		5,001,796
	繁殖用雌牛	548	480	558	116.3	107,611,500	761,623	456,969		304,654
	育成乳牛 (子牛等)	169	950 100	949 92	99.1	218,073,900	740,563	444,323		296,240
	育成・肥育牛 (子牛等)	8,890	12,870 300	13,220 307	102.7	1,898,065,850	1,833,487	1,100,074		733,413
	繁殖用雌馬									
	育成・肥育馬									
	種豚	12,085	9,950	10,259	103.1	438,877,950	3,308,591	2,205,717		1,102,874
	肉豚	111,835	78,400	80,105	102.2	785,285,250	61,882,222	41,254,806		20,627,416
	種雄牛									
	種雄馬									
	計	135,701	105,000	107,647	102.5	3,919,230,450	81,030,945	52,964,552	0	28,066,393
疾病 傷害 共済	乳用牛	2,343	1,870	2,096	112.1	41,388,000	10,553,409	6,332,031		4,221,378
	肉用牛	9,438	2,830	3,092	109.3	31,884,600	9,394,298	5,636,569		3,757,729
	一般馬									
	種豚	12,085								
	種雄牛									
	種雄馬									
	計	23,866	4,700	5,188	110.4	73,272,600	19,947,707	11,968,600	0	7,979,107
合計	135,701	109,700	112,835	102.9	3,992,503,050	100,978,652	64,933,152	0	36,045,500	

(注) 子牛等については、事業計画頭数、引受頭数のみ記載し、その他の欄については育成乳牛及び育成・肥育牛に含めて記載する。

(事故)

区分	項目	死亡 廃用 共済			支払共済金 円
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	
搾乳牛		70	15	85	17,772,937
繁殖用雌牛		6	5	11	1,470,106
育成乳牛 (子牛等)		1 16	0	17	835,400
育成・肥育牛 (子牛等)		13 42	8	63	8,238,761
繁殖用雌馬					
育成・肥育馬					
種豚		48	3	51	2,887,750
肉豚		9,981	0	9,981	89,407,549
種雄牛					
種雄馬					
計		10,177	31	10,208	120,612,503

区分	項目	疾病 傷害 共済	
		件数	支払共済金 円
乳用牛		1,995	24,996,611
肉用牛		1,161	19,504,337
一般馬			
種豚			
種雄牛			
種雄馬			
計		3,156	44,500,948

(注) 子牛等については、死亡頭数の欄のみ記載し、その他の欄については育成乳牛及び育成・肥育牛に含めて記載する。

【事故発生状況】

〔乳用牛〕

死亡廃用共済及び疾病傷害共済においては、春から夏にかけて長雨により涼しい日が続き、
 平年より事故頭数、事故件数、支払共済金ともに減少した。

〔肉用牛〕

死亡廃用共済においては、事故頭数、支払共済金が増加し、
 疾病傷害共済においては、平年より事故件数、支払共済金ともに減少した。

〔種豚・肉豚〕

種豚の死亡廃用共済については、事故頭数、支払共済金ともに増加した。
 肉豚については、冬場の寒暖差の影響により、事故頭数、支払共済金ともに昨年より増加した。

(損害防止)

一般損害防止事業を実施し、共済事故の未然防止並びに事故拡大防止に努めた。

区分	項目	実施期日	実施頭数	重点事項	経費 円	摘要 円
一般損害防止 (予防衛生措置)		4月から3月	32,808	予防衛生・消化器予防対策・ 内外寄生虫駆除等	2,038,054	連合会 1,456,135 組合 581,919

〔乳用牛〕

ボバクチン、ビオスリー等の配布による予防対策を行った。

〔肉用牛〕

エコメクチンの散布、固形カウストン、ビオスリーの配布による予防対策を行った。

〔種豚・肉豚〕

各種殺菌剤の配布による予防対策及びPED対策として消石灰の配布を行った。

(5) 園芸施設共済関係
(引 受)

項目 施設区分	組合 員数	引受 棟数	引受 面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
	人	棟	a	千円	千円	円	円	円
ガラス室Ⅰ類								
ガラス室Ⅱ類	27	51	360	494,798	414,344	360,780	237,871	122,909
プラスチック ハウスⅠ類								
プラスチック ハウスⅡ類	1,943	11,376	29,621	9,681,716	7,849,373	63,911,051	39,385,178	24,525,873
プラスチック ハウスⅢ類	206	285	3,705	1,969,369	1,529,982	6,424,220	4,041,229	2,382,991
プラスチック ハウスⅣ類甲	296	469	4,961	4,880,231	3,790,744	9,258,922	5,740,106	3,518,816
プラスチック ハウスⅣ類乙	43	64	929	821,100	665,275	552,606	381,067	171,539
プラスチック ハウスⅤ類	20	34	638	606,176	475,768	579,136	394,629	184,507
プラスチック ハウスⅥ類	13	23	89	20,020	15,478	306,262	191,669	114,593
プラスチック ハウスⅦ類	80	195	4,998	222,752	178,206	630,484	380,947	249,537
合 計	(延) 2,628	(延) 12,497	45,301	18,696,162	14,919,170	82,023,461	50,752,696	31,270,765

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額 円	共 済 金						共済金 共済金額 %	
	組合 員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	施設内 農作物	撤去 費用	復旧費用			合 計
									特定園芸施設	附帯施設		
人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円		
ガラス室Ⅰ類												
ガラス室Ⅱ類	1	1		51,040	40,832						40,832	0.01
プラスチック ハウスⅠ類												
プラスチック ハウスⅡ類	147	411	2	26,430,743	8,391,142	162,752	12,584,360	49,464			21,187,718	0.3
プラスチック ハウスⅢ類	11	15		3,469,504	202,194		2,573,403	897,600			3,673,197	0.2
プラスチック ハウスⅣ類甲	10	13		3,272,467	185,604		2,432,366				2,617,970	0.1
プラスチック ハウスⅣ類乙												
プラスチック ハウスⅤ類												
プラスチック ハウスⅥ類												
プラスチック ハウスⅦ類	6	7		397,531	318,021						318,021	0.2
合 計	(延) 175	(延) 447	2	33,621,285	9,137,793	162,752	17,590,129	947,064	0	0	27,837,738	0.2

【被害状況】

風害による被害は、106戸、156棟、855万円の支払いとなった。特に8月30日の強風では、10戸、33棟、施設本体、被覆物の被害で221万円、撤去費用として、5万円の支払いとなった。また、施設内農作物の被害では、小玉スイカにホモブシス根腐病、トマトでは黄化葉巻病等が発生し、39戸、265棟、1,693万円の支払いとなった。

(支 払)

手持共済掛金	既経過共済掛金	責任準備金繰入額	責任準備金戻入額	当期手持共済掛金
円	円	円	円	円
31,270,765	10,599,784	20,670,981	15,073,262	25,673,046

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金 %
	保 険 金	手持共済掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
27,837,738	22,270,032	5,567,706				100

(6) 建物共済関係

(引受関係)

種別	加入		共済金額	共済掛金		平均共済金額	
	戸数	棟数		純共済掛金	賦課金	戸当たり	1棟当たり
総合	6,008	8,043	9,358,556	174,677,453	61,061,006	1,558	1,164
火災	30,837	64,347	74,526,290	384,216,075	313,882,554	2,417	1,158
合計	(延) 36,845	(延) 72,390	83,884,846	558,893,528	374,943,560	2,277	1,159

(事故関係)

事故		加入共済金額	支払共済金	備考
戸数	棟数			
369	389	547,670	265,885,333	

【被害状況】

前年度実績から支払戸数で98戸、支払共済金については4億1,003万円の支払減となった。事故別では火災による支払共済金が2億493万円と全体の77.1%を占め、落雷及び風水害による事故については、管内全域で発生し6,095万円の支払いとなった。

(7) 農機具共済関係

(引受関係)

種別	加入		共済金額	共済掛金		平均共済金額	
	戸数	台数		純共済掛金	賦課金	戸当たり	1台当たり
総合	4,137	15,850	4,656,738	231,738,669	54,018,740	1,126	294
火災	2,479	4,552	480,327	4,116,110	921,292	194	106
合計	(延) 6,616	(延) 20,402	5,137,065	235,854,779	54,940,032	776	252

(事故関係)

事故		加入共済金額	支払共済金	備考
戸数	台数			
656	732	302,276	191,090,196	

【被害状況】

支払対象台数は、機種別でトラクター186台、ロータリー162台、コンバイン128台の3機種で全体の65.0%を占めた。支払共済金については、事故件数に大きな差はなかったが、盗難で1,990万円、転覆・墜落で3,240万円の支払いがあり総額で前年度対比3,783万円の支払増となった。

(8) 保管中農産物補償共済関係

(引受関係)

種別	加入		共済金額	共済掛金		平均共済金額	
	戸数	口数		純共済掛金	賦課金	戸当たり	1口当たり
Aタイプ (一時保管)	10	10	1,000	17,500	7,500	100	100
Bタイプ (通年保管)	2	2	200	9,100	3,900	100	100
合計	(延) 12	(延) 12	1,200	26,600	11,400	100	100

(事故関係)

事故		加入共済金額	支払共済金	備考
戸数	口数			
0	0	0	0	